

中1数学 出題のねらいと対策

1 小学校計算 87.5%

ねらい：整数、小数、分数の四則計算ができるかをみる。

分析と対策：(1)(3)(5)(6)計算の順番は「かっこ→かけ算やわり算→たし算やひき算」です。(4)(5)(6)通分や約分に注意して計算しましょう。帯分数は仮分数になおして計算します。

2 正負の数の計算 73.8%

ねらい：正負の数の加減、乗除、四則計算ができるかをみる。

分析と対策：(1)同符号の2数の和は、絶対値の和に共通の符号をつけたもの、異符号の2数の和は、絶対値の差に絶対値が大きいほうの数の符号をつけたものです。減法は加法になおして計算します。(2)正負の数の乗除では、負の数が奇数個なら答えは負、負の数が偶数個なら答えは正です。(3)(4)計算の順番は「かっこ→かけ算やわり算→たし算やひき算」です。累乗の計算の方法を確かめておきましょう。

3 速さ・割合・比 60.8%

ねらい：速さ・比・割合の基本事項の定着度をみる。

分析と対策：速さの公式、速さや時間の単位の変え方、割合の公式、等しい比の性質などについて、確かめておきましょう。

4 速さ・割合・比の応用 66.3%

ねらい：速さ・比・割合の文章題に取り組む力をみる。

分析と対策：(1)全体の比を考えます。(2)問題文や図を利用して、速さ・道のり・時間についてわかることを整理しましょう。(3)「○%引き」は「○%に

あたる量が減る」こと、「□%上乘せ」は「□%にあたる量が増える」ことです。もとにする量をよく確かめましょう。

5 図形 56.5%

ねらい：角、面積、体積など、小学校で学習した図形分野全般の定着をみる。

分析と対策：(1)折り返した図形にできる等しい角を利用します。(2)合同な4つの平行四辺形を対角線で分けているので、面積はそれぞれ等しいです。(3)三角形や四角形、円の面積の求め方を確かめておきましょう。(4)展開図を組み立ててできる立体は三角柱です。体積の求め方も確かめておきましょう。

6 正負の数 46.9%

ねらい：正負の数の基本事項の定着と応用力をみる。

分析と対策：(1)負の数は0より小さい数で、絶対値が大きいほど、数は小さくなります。数直線をかくと、数の大小はわかりやすいです。(2)あてはまらない場合が1つでもあると正しいとはいえません。(3)実際に記号や符号をあてはめて計算してみましょう。(4)基準との差を利用すると、実際の値の差や平均を求めることができます。求め方を確かめて、身につけておきましょう。(5) $B = C^2$ からBは正の数で1とわかります。Bの値からその他の数を考えていきます。

全体の平均点は60.5点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。